

経営比較分析表（令和6年度決算）

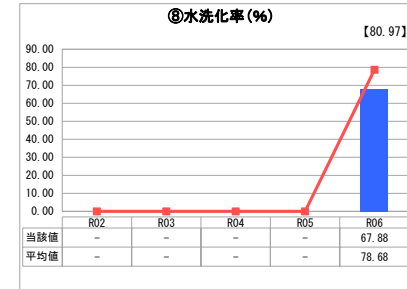
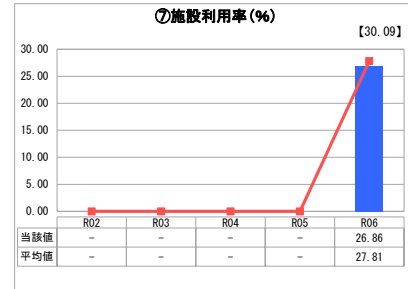
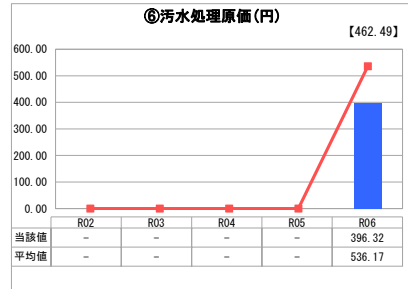
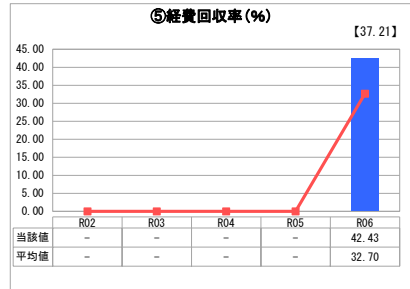
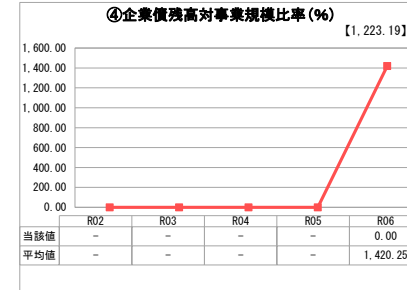
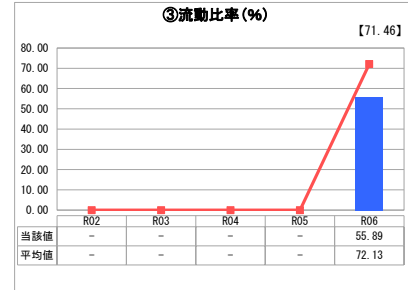
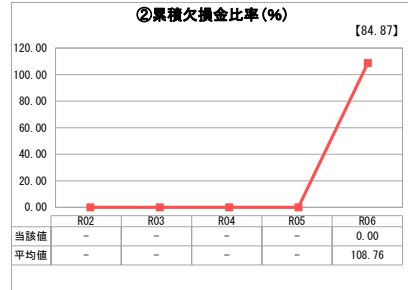
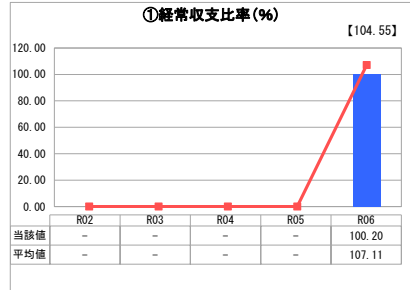
長崎県 壱岐市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	73.20	8.09	106.93	3,550

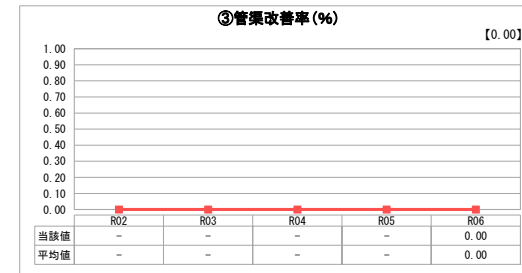
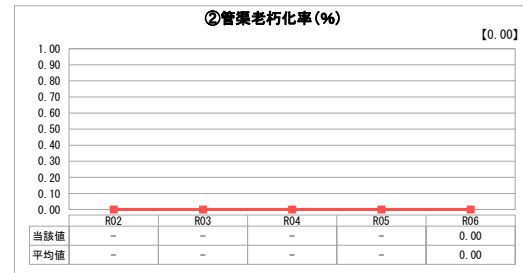
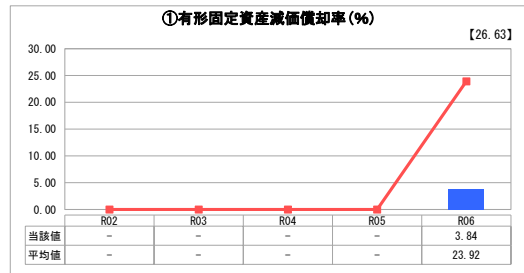
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
23,736	139.42	170.25
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,893	0.99	1,912.12

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当市では、3つの処理区（瀬戸・芦辺地区、恵美須地区、山崎地区）で漁業集落排水事業を実施している。供用開始は平成11年4月から始まり、工事完了は平成30年1月となり、各地区共に加入促進に努めている。

⑤経費回収率について、100%未満となっており、供用開始後の接続加入は増となっているが、高齢化のため自然減もあるのが現状。

また、施設の機能保全計画に基づき、高効率機器の更新を行い維持管理費の削減を図り改善する。

⑦施設利用率、⑧水洗化率は平均値以下のため、店舗等更なる加入促進を図り改善に努める。

令和6年度から、公営企業会計に移行したことにより、より細やかに経営状況を把握し、持続可能なストックマネジメントを推進し経営の健全化に務める。

2. 老朽化の状況について

既存施設として、3つの処理地区を要しているが、最も古い施設で20年経過程度である。各施設ごとに機能診断を実施し、策定した機能保全計画に基づき施設の改修を行い、長寿命化に努める。

全体総括

計画の整備事業は平成30年1月で完了した。今後も漁業集落排水への接続の推進を図り、使用料収入の確保はもとより、将来の施設更新などを見据えて、維持管理費の見直しなど経営改善を図る必要がある。

各施設の機能診断結果と、将来の人口減少傾向も踏まえ、施設の統合検討など改善を行う必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。